

平成 30 年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立保谷第二小学校	校長名	神 山 繁 樹
-----	--------------	-----	---------

学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる心身ともに健全な国民の育成を期し、次の目標達成に努める。

- 考える子 “いきぬく” 知力の鍛錬
⇒ 「問題解決力」 「情報処理能力」 「判断・決断力」 「批判的思考力」
- 思いやりのある子 “いきぬく” 心力の熟成
⇒ 「人間関係形成力」 「自他評価力」 「受容・寛容力」 「自己抑制力」
- たくましい子 “いきぬく” 体力の強化
⇒ 「実践力」 「自己反省力」 「忍耐力」 「意思決定力」

学校の特徴

《学 校》教育活動を家庭・地域と協同・協働する学校

《教職員》「ホニ学のススム」と校内研究体制（A 分科会；低中高専分科会による授業研究と B 分科会；指導案検討部，調査・資料部，学習環境部，オリパラ部）を軸にした指導力向上に努める教職員
教科担任制を導入した授業改善及び児童理解を深める教職員

《保護者・地域》学校と協同・協働する保護者・地域

《児童》挨拶運動に積極的に取り組み，礼儀作法を心得ている児童

目指す学校像（学校像、児童・生徒像、教師像）

新しい社会の中で“いきぬく”ための資質・能力を育成する教育活動を家庭・地域に開き，児童・生徒・学生・大人という“成長予想図”を描く学校を創造する。

《学校》 教育目標を軸とする学校 底力と活力，前向きな笑顔が溢れる学校
協同・協働・教導する学校 交流する学校 大人も学ぶ学校

《教職員》児童の姿で真価を問う「教育のプロ」 教育活動を支援する「仕事のプロ」

《保護者・地域》児童の健全育成のため，「子育てのプロ」に徹する大人
児童の範となる「人生の鑑」

《児童・生徒（卒業生）》笑顔で，常に前向きに取り組む子
礼儀を身に付け，自他を思いやり，自分を創る子
健康な体と強靱な精神力をもち，何事にも粘り強く，挑戦する子

学校経営の目標

「人間教育の価値」を“問う”学校経営とする。

①中期経営目標

《教育課程》次期学習指導要領の精神，目標を具現化した教育活動を実践する。

《働き方改革》“遊び方改革”を推進する。

《西東京市の重点課題》

小中一貫の意義を踏まえた学校観・教育観・指導観・児童観を確立する。

《教職員》保二小の当たり前を，皆の“矜持”とする。

《学校・家庭・地域》保二小の児童と一緒に見守る仲間として協同・協働する。

《環境》大切な資源（人，もの，予算，情報，時間，空間，良識）を大切にする。

《人として》美意識・価値観・お洒落感を育み，皆が魅力を発揮する。

差別，暴力，いじめ，あらゆる悪を注意深く排除する。

②短期経営目標

『**Back to the basics** 自分を見つめ直す』をテーマに掲げる。

〈底力を見極める〉現状（児童と大人の姿）分析による確固たる指導観の構築

〈活力を見定める〉新たな価値観を生み出す教育活動への挑戦

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

【Back to the basics】

○教育目標改訂による底力の検証及び教育課程編成（年度末）

○次期学習指導要領を軸に「ホニ学のススめ」改訂による活力宣言（平成31年度末完成）

⇒ 教職員の達成感・充実感・期待感99.9%

【組織の活性化】

○主幹から主任，学年ラインと分掌スタッフの伝播力を検証し，仕事の質向上（年度末）

○綿密に練られた意図的・計画的な職層別研修会での学びを教育活動へ還元する（月1回）

⇒ 校長と教職員の満足度合計79%以上

【脳の活性化】

○教科担任制，全学年共通ドリル活用，専科授業の拡充による授業の充実（毎日）

○「ホニ学のススめ」継続実践及び精選・改訂に向けた検証実践による分析考察（年度末）

⇒ 学力調査（5・6年生）正答率，全児童80%以上

【心の交流】

○（毎日）全学年による挨拶運動，6年生による1年生への指導，4年による飼育活動

（適時）幼保中高大連携活動，ホーム訪問（年1回）ほにほに共和国，学芸的行事活動

○PTA活動，地域活動への参加，協力；（年1回）むくのみ祭り，どんど焼き

⇒ 児童と大人の達成感・充実感・満足感合計平均81%

【心の開放】

○教師と保護者と地域の方々による協同・協働ができる学校からの発信；

（年度初め）校長の学校経営方針及び教職員による宣言及びメッセージ

（月1回）学校だより，校長室便り（随時）HP（適時）保護者会，個人面談，

校内研究授業参観，道徳地区公開講座参画（毎日）日常対話，情報交流

⇒ 学校への信頼度81%以上

【身体の鍛錬】

○看護当番による外遊び呼び掛け及び遊びの見守り，児童の様子記録（毎日）

○養護教諭の日記による児童の健康状態及び怪我の発生把握（毎日）

○体育的行事活動，オリパラ教育推進活動による体力及び健康増進（適時）

⇒ 体力調査各学年の課題アップ率11%以上